

仕 様 書

- 1 事業名称 病院事業
- 2 件 名 全自動錠剤分包機購入
- 3 目 的 既存装置(平成20年6月購入)の経年劣化による入れ替え
- 4 納入期限 令和8年3月31日
- 5 納入場所 蕪崎市本町3丁目5番3号 蕪崎市立病院 薬局
- 6 内 容 (積算の根拠)

積算価格

円(税込)

番号	品 名	数量	単位	単 価	金 額
1	全自動錠剤分包機【Xana2040UF4】本体	1	台		
2	散薬監査システム	1	式		
小 計					
消 費 税					
合 計					

7 特記事項

- (1) 調達物品の備えるべき技術的要件は、別紙を参照すること。なお、同等品は不可とする。
- (2) 納入時の日程、作業計画、場所等は事前に担当者と打合せを行うこと。
- (3) 購入機器の搬入、搬送、納品等に係る一切の費用は上記の経費に含むものとし、受注者の負担とする。
- (4) 無償保証期間は納入後から1年間とし、製造会社による保証とする。
- (5) 購入機器の配置場所は、担当者の指示に従うこと。
- (6) 搬入、搬出の際には、車両等の進入、備品の移動等施設内の安全を最優先し、事故の無いよう十分に配慮すること。
- (7) 取扱説明書を提示するとともに、使用方法等を納入先の担当職員等へ説明すること。
- (8) 納入の際に発生する不要な梱包材等は、受注者が責任を持って処分すること。
- (9) 作業中は、施設及び施設内の備品等への汚損・毀損に十分注意を払うこと。
- (10) 納入の際は、担当者に納品書または納品完了届等を提出し、検収を受けること。
- (11) 各種感染症拡大防止対策として納品前、納品中の対応については、担当者の指示に従うものとする。また、作業及び納品を行った従事者がコロナウイルス等の感染症に感染した場合は、速やかに担当者へ報告すること。
- (12) 現存の分包機は、適切に廃棄すること。

- 8 そ の 他 この仕様書に定めのない事項及びこの仕様書に疑義が生じた場合は、担当と協議のうえ決定するものとする。

- 9 担 当 課 蕪崎市立病院 事務局 総務担当
(蕪崎市本町3丁目5番3号 / 電話 0551-22-1221)

別紙 技術的要件

- 1 全自動錠剤分包機は、以下の要件を満たすこと
- 1-1 錠剤の処方データに応じ、誤飲防止・服用忘れ防止に役立つ一包化の分包が、自動で行える錠剤分包システムであること。
- 1-2 錠剤調剤の指示のある処方データを処方解析監査装置より受け取れること。
- 1-3 全自動錠剤分包機の一包化分包速度は54包／分以上であること。
- 1-4 全自動錠剤分包機は薬剤の収納カセット数が204種以上であること。
- 1-5 全自動錠剤分包機はカセットの配置換えが容易に行えるように、薬剤収納カセットサイズは1種であること。
- 1-6 全自動錠剤分包機は薬剤の補充の度合いに合わせ、カセット配置を自由に変更できること。
- 1-7 全自動錠剤分包機は錠剤の収納カセットが帯電防止性、防湿性に優れていること。
- 1-8 錠剤の補充に際して、収納方式はスライドキャビネット方式を採っており、一度に34種以上の残量確認ができること。
- 1-9 本体へのカセット装着は、本体凸部へカセット凹部をかぶせるだけの簡単装着であること。
- 1-10 錠剤や半錠などの薬品形状にあわせてリアルタイムに可変対応できる特殊カセットを4個以上搭載していることにより、手撒きコンベアを利用することなく、分包機内に収納していない錠剤(後発薬品や頻出薬品など)を高速に払い出し分包できること。
- 1-11 全棚が錠剤カセットを自動で認識することができ、どこにどのカセットを配置しても錠剤カセットに取り付けられているタグと分包機内の棚に設置されているタグ識別装置にて薬品の照合ができること。
- 1-12 全自動錠剤分包機は非実装薬剤の一包化が容易にでき、非実装薬剤のリストがタッチパネルに表示できること。
- 1-13 錠剤コンベアは、各マスにLEDランプが搭載されており、錠剤を投入すべきマスのLEDランプを点灯させることで錠剤の誤投入が防止でき、どのマスへまけば良いか一目瞭然のコンベアであり、このLEDランプ付錠剤コンベアが標準で搭載されていること。
- 1-14 全自動錠剤分包機は至急の割り込み及び号機指定もできること。
- 1-15 15インチの大型のタッチモニターを搭載していること。
- 1-16 分包済み薬剤の内容を、モニターで確認できること。
- 1-17 処方解析監査装置から受け取った錠剤の処方データに応じ、自動で薬包紙に以下の印字ができること。
●患者氏名 ●用法 ●薬品名
- 1-18 処方区分、病棟ごとに自動で印字内容を変更できること。
- 1-19 全自動錠剤分包機の印字は全行熱転写方式であること。
- 1-20 全自動錠剤分包機は情報提供の観点から、薬品名などを印字できること。
- 1-21 分包紙への印字は、Windows PCに標準搭載のフォントは全て印字でき、外字や記号などもPC上で表示された通りに印字でき、下記項目を印字できること。
●写真 ●イラスト ●ロゴ ●バーコード ●QRコード
- 1-22 全自動錠剤分包機で使用する分包紙は、薬品に対しての品質保持に優れ、シールずれのないニツ折り分包紙を採用していること。
- 1-23 患者の服用時に分包紙が開封しやすいよう、分包紙シール部のどこからでも切れる機能だけでなく、鮮明なイージーカット(開封用切れ込み)が入る機能をそなえていること。
- 1-24 薬剤部内の全分包機で使用する分包紙は、共通性を持たせることにより分包紙の発注・在庫管理業務が非常に効率的になるため、90分割散薬分包機および錠剤分包機ともに共通規格分包紙であること。
- 1-25 全自動錠剤分包機のサイズはW1160mm×D600mm×H2180mm以下で、薬局で指定する場所に設置できること。
- 1-26 台数は制御用PC1台、全自動錠剤分包機1台、の構成であること。
- 2 散薬監査システムは、以下の要件を満たすこと
- 2-1 散薬監査システムは、既存調剤システムと連携し、散薬監査システムの環境構築ができること。また、既存電子天秤及び既存バーコードリーダーを連動使用可能であること。
- 2-2 タッチパネル一体型PCは、以下の要件を満たすこと。
- 2-3 10.1インチ以上のタッチパネル式液晶カラーディスプレイであること。
- 2-4 PCは1000Base-T以上のインターフェースを1個有し、通信プロトコルはTCP/IPであること。
- 2-5 サーマルプリンターは、以下の要件を満たすこと。
- 2-6 サーマルプリンターは、現在使用している用紙がプリンターにセットできること。
- 2-7 サーマルプリンターには、オートカット機能があること。